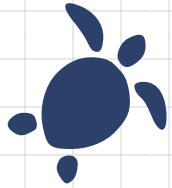
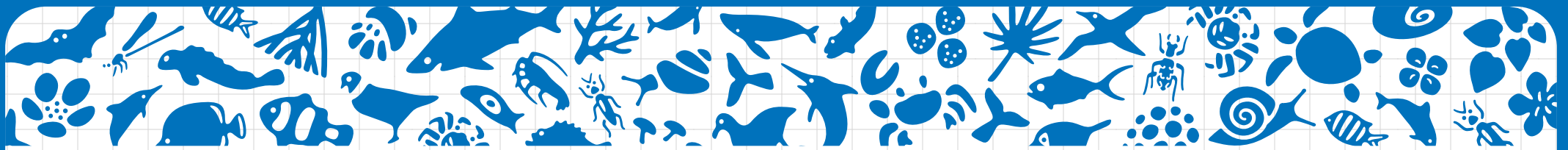




小笠原諸島の
豊かな生態系を未来へつなぐ


すみだ水族館
SUMIDA AQUARIUM


ニッポン



すみだ水族館と株式会社ニチレイは
このたび連携協定を結びました。

未来を担う子どもたちの力を育み、
地域社会や生物多様性の保全に
貢献していくことを目的としています。

小笠原諸島のアオウミガメの保全活動を始めとして、
自然や社会の大切さを感じ
考えるきっかけをお届けしていきます。

これからも両社が力を合わせ
さまざまな取り組みを広げてまいります。



2025.09.09



2025.09.11



すみだ水族館の小笠原諸島での主な活動

1

ウミガメ保全活動

小笠原村で行われている保全活動は、ウミガメと共に暮らす自然環境を維持するための歴史あるものです。すみだ水族館は開業当初より小笠原村と連携してこの保全活動に参画しています。その一環として、小笠原諸島で生まれた赤ちゃんを約1年間大切に育て、安全に海で生きていける大きさになるまで成長させたのち、小笠原の海に還しています。さらに、小笠原のアオウミガメの赤ちゃんを通じて、環境を考えるきっかけになる教育活動も行っています。

2

ビーチクリーン

アオウミガメは砂浜に上陸して産卵を行います。砂浜にゴミや障害物があると、親ガメや卵からかえった赤ちゃんが引っかかってしまい、巣穴を掘ることができなくなってしまいます。そこで小笠原村のみなさまと力を合わせて、海岸をきれいにする活動を続けています。世界自然遺産の島であっても海洋ゴミ問題が存在しているのです。

3

魅力発信プロジェクト

小笠原からやってきた赤ちゃんを通じて、小笠原小学校のみなさんと小笠原を共に発信するプロジェクトを実施しています。これまでに「ボニン・ブルー(小笠原の海)」や「ハート・ロック(千尋岩)」など、子どもたちが考えた想いを交えた魅力を紹介してきました。子どもたちならではの小笠原の魅力を再発見し、伝えていけたらと考えています。

2025 株式会社ニチレイの小笠原訪問

今回の小笠原訪問では、アオウミガメの保全活動に加え、美しい海や豊かな自然など、現地を訪れたからこそ分かる魅力や得られる経験が多くありました。創立から80年にわたり社会課題を解決してきたニチレイグループとして、自然環境を未来につないでいくためにできることがあると考えています。今後も地域社会や生物多様性保全に貢献する取り組みや情報発信を進めてまいります。